



◆表紙

出港（京都舞鶴港西港）

◆主な内容

- 2～平成25年度決算報告
- 8～市議会議員一般選挙
- 10～シリーズ市政の「今」第14回
- 12「乳幼児期の学校教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保等に関する計画（案）」に意見を

シリーズ市政の
「今」
第14回

地域経済の活性化

働く場の創出と
地域経済の安定的成長へ向けて

地域の経済と雇用を支える地元産業の活性化なくして、活力のあるまちづくりは成り立ちません。まちを元気にし、市民の皆さんの定住意欲に応えながら暮らしの満足度を高めるためには、働く場を確保し、地域経済を安定的に成長させることが重要です。シリーズ市政の「今」第14回は、新たな雇用創出の取り組みと地域経済の活性化を目指すまちづくりについてお知らせします。



▲写真1：求人情報検索機の運用開始のテープカット
(9月1日)

雇用促進に向けた取り組み
平成26年8月の本市における有効求人倍率は1・23と近年になく高い数値を記録していますが、依然として地方の経済を雇用を取り巻く環境が不透明な中、職に就く人が求職と求人との間でアンバランスが生じているほか、将来の人口減少を背景とした雇用者確保が懸念される状況です。
このため、舞鶴市就業支援センター（※）では、京都労働局との協定に基づき今年度から新たに国が行う職業紹介と求職の就労支援の一体的運営を開始。
これにより、同センターに国がハローワーク職員2人の常駐と、求人検索機5台を配置し、職業紹介・相談機能を充実。市は従来の就職相談員2人に加え、独自の就職マッチング推進員1人を配置。人手不足が深刻とされる介護福祉分野を中

心に、現状把握に基づいた、求人事業所と求職者のマッチングに向けた取り組みを展開しています（写真1）。
今後は、京都ジョブパークをはじめとする関係機関との連携をより一層強化し、舞鶴市就業支援センターを拠点に舞鶴ならではの就業支援事業に取り組み、これまで以上に求職者に寄り添ったきめ細やかで総合的な雇用促進を図ります。また、U・J・I・ターンによる就職・転職を促進させるため、夏の就職フェア「ふるさとコールMAIZURU」を開催。地域資源豊かな本市での就職希望者を支援し、ふるさと舞鶴での定住促進に努めています。

中小企業などへの支援策を充実

市内中小企業の資金繰りの円滑化を図

(表1)
リーディング産業チャレンジファンド平成23年度事業成果

採択事業名	事業成果	雇用効果
㈱パシフィックウエーブ	販売数2.5倍増	6人増
㈱ウッディーハウス	売上高1.9億円増	8人増
㈱DIY STYLE	売上高550万円増	4人増
舞鶴アカガイ育成グループ	アカガイ出荷量3%創出	グループ参入10人増
かねと食品	ワカメ販売量4.5%創出	6人増

《その他の採択事業所》

- ◆㈱カンネツ
- ◆舞鶴かまぼこ協同組合
- ◆㈱マイギ
- ◆舞鶴計器
- ◆㈱アグリベリス
- ◆㈱Beache
- ◆田井水産物
- ◆㈱エナミ精機



▲写真2：リーディング産業チャレンジファンドの公開プレゼンテーション（昨年10月4日、商工観光センター）

り、経営の安定化、事業の拡充などを促進するため、市独自の経営改善特別融資制度「舞鶴十年」、また環境負荷低減への取り組みを推進するための特別融資「舞鶴グリーン」とその付帯補助金である「舞鶴グリーンプラス」を継続実施（表2）。
また、「まいづる元気産業創出事業」の一環として、「リーディング産業チャレンジファンド」の採択事業フォロアップなどを通じて市内産業をけん引していく事業者の発掘・育成・支援を実施しています。
リーディング産業チャレンジファンドは、厳しい経済情勢を打破する思い切った経済政策として平成23・25年度まで実施。23年度採択事業のうち5事業所では、昨年11月に公表したとおり24人の新規雇用が生まれています。また、それぞれ